

ITER(国際熱核融合実験炉)計画

平成19年度概算要求額:7,722百万円

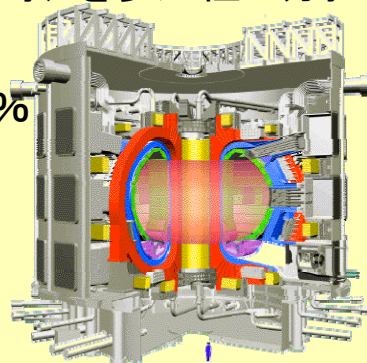
(平成18年度予算額 :1,401百万円)

※ITER:ラテン語で「(遠くへ続く)道」を意味する。

- 核融合エネルギーには、豊富な燃料資源、固有の安全性、高い環境適合性、等の優れた利点
- ITER計画は、実験炉の建設・運転を通じて、核融合エネルギーの科学的・技術的実現可能性を実証する国際協力プロジェクト
- ITER機構長予定者には、日本から推薦した池田要氏（前駐クロアチア特命全権大使）
- ITER協定案については、本年5月24日の閣僚級会合において仮署名。年内にも署名を予定。
- 核融合エネルギーの早期実現に向け、ITERと並行して補完的に取り組む幅広いアプローチを、日・EUの国際協力により実施

ITER（平成19年度概算要求:3,632百万円）

- 参加極:日、EU、米、韓、中、露、印
- 建設地:フランス・カダラッシュ
- 核融合熱出力:50万KW(発電実証はしない)
- 総経費:約1.3兆円(建設期:約5,700億円、運転期:年間約300億円、等)を参加極で分担
- 日本の分担割合:
建設期:9.1%、運転期:13%
- 計画(予定):
2006年度 建設開始
(10年間)
2016年度 運転開始
(20年間)



幅広いアプローチ（平成19年度概算要求:4,090百万円）

- 実施極:日本、EU
 - 実施地:青森県六ヶ所村、茨城県那珂市
 - 総経費:920億円を日・EUで半分ずつ負担
 - 計画:ITER建設と概ね合致する期間、以下のプロジェクトを実施
 - ①国際核融合エネルギー研究センター
 - ・原型炉設計・研究開発調整センター
 - ・ITER遠隔実験研究センター
 - ・核融合計算センター
 - ②国際核融合材料照射施設の工学実証・工学設計活動
 - ③サテライト・トカマク(予備実験等の実施によるITER支援)
- ※トカマク(tokamak)とは、核融合炉に高温高密度プラズマを閉じ込める磁場を作る方式の一つであり、ロシア語起源の名称。